

松戸市議会豆知識

当コーナーでは、「最近の松戸市政事情」について説明させていただきます。

Vol.9 市政をもっと身近なものに!

松戸市立病院(新病院)移転・建替え問題

「広報まつど」市立病院建替え記事に、木村みね子他多くの市議から反発続出 (平成23年12月市議会一般質問)

千駄堀駅は市長推奨案に過ぎず、議会決定しておらず! 千駄堀駅転移に難色を出す議員多し!!

市立病院建替え問題で、「広報まつど」平成23年10月15日号に「市立病院の建て替えに一定の方向性」と題する記事が掲載されました。その内容は、同病院の建替え問題について、移転先が未だ議会決定していないのに、千駄堀への移転案を上げ一定の方向性がまとまったと紹介し、更に現市立病院のある上本郷への東松戸病棟の移転にまで触れたものです。

これに対し、昨年12月の市議会一般質問で木村みね子他5名の議員から、掲載記事は事実と異なり、市民に混乱や誤解を与えたと過ぎないなど反発が続出しました。

市立病院の千駄堀移転案は、平成23年6月以降複数回に亘り開かれた市立病院建設検討特別委員会(以下、特別委員会)

の中で、同年9月9日に市長より突然推奨案として発言のあったもので、特別委員会では市長発言を受け様々な角度から千駄堀案の検討を開始。市長からはその間に自身のマニフェストであった現地建替えは実質的に断念する旨の回答もなされました。

千駄堀案検討の過程におきまして、紙数66街区に建設する方が早い。千駄堀予定地には50人以上の地権者があり1年以内の了承取り付けは困難。東松戸病院を上本郷に移転することで東部地区に医療過疎が生じる。紙数や東松戸住民とのコンセンサスは取れているのかなど多くの意見が出され、その他に解決すべき問題があることから議員(特別委員会委員)からは賛同できないとの意見表明が多数に及んでおります。

木村みね子の市立病院の移転・建替えに関する考え方と今後の対応

紙数(取得済み市立病院建設用地 66街区・65街区)に新病院建設を!
松戸市民の生命と健康を第一に考え、早期完成が最優先マター!!

広報まつど(平成23年10月15日号)に掲載された記事「市立病院の建て替えに一定の方向性」を読まれた皆様は一緒に、市立病院の移転先はあとも千駄堀に決まったのごとく混乱や誤解を招かれたのではないのでしょうか。市立病院建設検討特別委員会(以下、特別委員会)におきましては賛否の採択すらなされておらず、ましてや本議会に議案として上程もなされておられません。特別委員会において、千駄堀移転案はあくまで市長推奨案として提出され論議されたに過ぎず、一定の手続きを踏んで議会でして結論が出されたものではないことを皆様には是非ご理解を戴きたいと思っております。

10年以上もの長きに亘り、充分な論議が繰り返されてきた特別委員会において、過去に千駄堀での移転・建替えは不可能との結論が出ていたにも拘らず、何故今更、千駄堀なのか、甚だ疑問であります。市長から任命、委嘱を受けた専門家による市立病院建替検討委員会(以下、建替検討委)の答申から5ヶ月以上も経過して、市長推奨案(最終案)として漸く提出された千駄堀移転案は、建替検討委の「5年を目途に新市立病院の完成の道を探るべき」との答申結果を無視したものであることに加え、次の通り多くの問題点があります。

- ・市街地調整区域で道路確保をはじめとする各種インフラ整備がなされていない
- ・電車の駅まで公共交通機関がない
- ・高圧線による大気汚染の影響や救急患者搬送用へりロード建設に制約がある
- ・地域文化財発掘調査に要す期間・コストは未定
- ・数千名もの地権者との交渉に要す期間は未定(執行部説明による最長1年には無理がある)

これらを解決する為には、莫大なコスト(正確なコストは現在算出できていないが19.4億円以上とも言われる)と長期期間(用地交渉から完成まで7年以上)を要します。

また、茨城県沖、房総沖ではマグニチュード7クラスの地震が70%~90%の確率で発生すると予測されており、現市立病院は震度5強で倒壊すると言われており、工期に7年以上も費やすことはできません。既に市立病院建設用地として取得済みの紙数(66街区及び65街区)に建設着すれば3年半~4年の早期完成が望めます。東松戸駅から徒歩3分の好立地であることなどに加え、松戸市民の生命と健康を最優先で守るには市立病院は既に取得済みの紙数の移転・建替えがベストな選択と考えます。

私、木村みね子は、昨年12月の市議会一般質問で本郷谷市長に「広報まつど」の事実誤認記事(市立病院があたかも千駄堀に決まったかのごとく捉えられる内容など)により市民に混乱や誤解を招いたことへの謝罪、訂正を求めました。市長は昨年12月4日の特別委員会、市民に不安と動揺を与えたことへの謝罪を述べ、千駄堀移転案の提案方は市議会とずれがあったと認め「広報まつど」に訂正文を掲載すると表明しました。

私は、市立病院の移転先は「紙数」と考え、今後も議会に臨んでまいります。また、市長の選挙マニフェスト(64億円)で市立病院の現地建替えには難航が生じ、市民の皆様との約束が反故にたこと、市民に混乱や誤解を与えたことなどに、再度責任を担及する所存です。これからも皆様のご理解とご支援を何卒宜しくお願い申し上げます。

新条例が施行されます

「松戸市空き家等の適正管理に関する条例」平成24年4月1日施行

「市民の皆様が安心して暮らせる街づくり」をめざします。

空き家等の所有者は、空き家等が管理不全の状態にならないよう、常に適正な管理を行わなければなりません。管理不足による犯罪の発生、建物の老朽化等による建物の倒壊により周囲の住民の生命・財産への被害、鼠や害虫の発生、敷地内樹木等が繁茂し敷地境界を越えるなど、周囲の生活環境を悪化させることが懸念されます。地域住民の皆様が安心・安全に不安をたまたすことのない様、所有者の適正な管理を促すための条例です。

自転車の安全運転啓発ポスターが完成

木村みね子の「自転車事故防止に関する要望」が実現へ!

自転車は、手軽で便利な交通手段として私達の生活に必要不可欠な乗り物の一つですが、信号無視、一時不停止、携帯電話を操作しながらの運転、傘をさしたる片手運転など交通ルールを守らずに運転する方が多く見られます。また、近年ブレーキ装着のないビストと呼ばれる自転車で公道を走行する違反行為も増えてきます。昨年度中に松戸市内で発生した交通事故件数は1,777件、その内自転車関係した事故は579件で全交通事故の3割以上を占めています。

木村みね子が、平成23年9月議会における一般質問「自転車事故防止に向けた本市の取り組み」で「安全運転啓発の更なる強化策」、「ルールを遵守させる為の制度」を要望したことから、自転車安全運転啓発ポスター「自転車の危険走行禁止!!」が作成されました。

自転車も事故を起こせば責任を問われ、刑事罰や損害賠償を請求される可能性があります。ルールを守って安全運転に努めましょう。



今後の主なスケジュール

木村みね子後援会では、本年も各種行事を予定致しております。多くの皆様のご参加をお待ち致しております。

■ **木村みね子「第5回 春の集い」**
日 時：5月中旬の土曜もしくは日曜 12時~
場 所：未定
内 容：今回より2部構成とし、1部では市政報告等、2部では懇親会、ミニコンサート、ネイル及びクイズマッソーコーナー等を予定致しております。

※ご参加を戴ける方、詳細等は後援会までお問合せ下さい。
木村みね子後援会 Tel 3 8 6 - 7 1 3 5



■ **「あなたの愛で、もっと増やそう盲導犬!」**
盲導犬育成募金活動と盲導犬とのふれあい

日 時：4月7日(土)
場 所：大塚さくら祭会場
内 容：盲導犬育成募金活動、チャリティグッズ販売、盲導犬及び盲導犬ボランティア(木村みね子が飼育ボランティア中)とのふれあいコーナーを実施します。

※木村みね子はタイドードリンク株式会社との協力により、公益財団法人東日本盲導犬協会の活動を全面的に支援しております。



思いやりと行動力

木村みね子

市政報告 後援会報

2012年1月号 (VOL. 10) (平成24年)

「再起動! まつど!」

活力のある“まつど”をとり戻し、夢と希望と自信にあふれた街“まつど”の実現!

年頭ご挨拶

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。旧年中は皆様より多大なるご指導、ご支援を賜り誠に有難うございました。皆様のお力添えを賜り二期目当選を果たすことができ1年が過ぎ、お蔭様にて健康福祉常任委員、農業委員会委員の職を務めさせて戴きました。昨年、我が国は未曾有の困難に直面した大変辛い1年でありました。歴史的ともいえる政権交代から2年が過ぎましたが、国民に大きな期待を抱かせた民主党政権のマニフェストは行き詰まり、政策転換や新たな政権運営の仕組みなど何ら実現していません。震災復興、原発事故の収束、来年度予算、消費税増税と社会保障、TPP、普天間、拉致問題など多くの課題が山積、満足な解決ができないことから政治不信が皆様の意識の中で一層強くなってきているのではないのでしょうか。我が

木村みね子トピックス

■ **フィリピン・マバラカト慰霊祭に参列**
特攻隊出撃地で日・比両国150人と共に 交戦犠牲者の鎮魂と世界の恒久平和を祈る!



太平洋戦争末期、神風特別攻撃隊が出撃したフィリピン・ルソン地方バランガ州・マバラカト町クラクア特別経済区内の平和公園で昨年10月25日、戦没者慰霊祭があり、木村みね子は医療法人徳洲会など日・比両国の関係者ら約150人と共に参列しました。

戦後65年を迎え、当地ではフィリピン軍軍楽隊が日・比両国国歌や海ゆかばを奏でる中、神風特攻隊隊長島隊長・開行男大尉と4名の隊員の係業を偲ぶ慰霊法要が特攻機の出撃時間帯に合わせ午前7時過ぎより挙行されました。日本側関係者の他、フィリピン側からは地元マバラカト町長、経済特区開発公社総裁、フィリピン空軍関係者、先住民族アエタの子供達らが出席。木村みね子は平和を願い帰国に情に燃えて散華した大尉をはじめ、多くの戦争犠牲者の鎮魂と世界の恒久平和を祈りました。



マバラカト慰霊祭

昭和19年10月25日午前7時25分、帝國海軍第201航空隊マバラカト東飛行場から出撃した神風特攻隊隊員がレイテ島東部沖で米空軍に攻撃を敢行。隊長・開行男大尉(行年23歳)が一番機となり、続く4名の隊員(行年19歳~20歳)と共に敵艦に大打撃を与え散華しました。この純粋で勇敢な愛国精神に感動した敵国であるフィリピン(郷土史家、アニメル・デビソン)の善意により建立された特記記念碑がピナツポ火山の噴火により埋没。日本国内最大の特攻基地があった鹿児島県出身の医療法人徳洲会理事長・徳田虎雄氏はこのことに心をうたれ、新たに慰霊碑を建立。平成10年より日・比両国による慰霊祭が毎年実施されています。

第38回松戸まつりで、盲導犬育成を全面的に支援

「あなたの愛で、もっと増やそう盲導犬!」



盲導犬育成募金
¥156,819
皆様からの善意に感謝!!

昨年10月1日に開催された第38回松戸まつりで、木村みね子(あなたの愛で、もっと増やそう盲導犬!)をキャッチ・フレーズにタイドードリンク株式会社協賛の下、公益財団法人東日本盲導犬協会を全面的に支援。木村みね子応援団「ピンク・シスターズ」と共に盲導犬育成に向けた啓発と募金活動を行いました。

小さなお子様の小さな手からの募金には、言葉では言い尽くさない程の感謝!



当日は天候に恵まれ、松戸駅西口デッキの同協会テントには多くの市民が来場、盲導犬とのふれあいを過ぎ、盲導犬へのご理解ならびに皆様より盲導犬育成募金¥156,819が寄せられました。募金に多大なるご協力を戴いた多くの皆様と盲導犬ユーザー一保谷浩子様・盲導犬ワールに心より感謝申し上げます。

木村みね子が農業委員に選任される

昨年7月に開催された松戸市農業委員会臨時総会において、木村みね子は市議会推薦により第21期農業委員として選任されました。今回の改選にあたり「情熱と行動力のある女性の登用を」の要請があり、今回は松戸市から2名の女性農業委員(農業委員会25名)が誕生しました。女性農業委員数は全国で2,065人。複数の女性農業委員がいる委員会はまだ僅かですが、全国の農業委員会(1,715委員会)の内、668委員会(全農業委員会の39%)となります。

農業委員会法第6条の規定により、農業委員会のみがその権限に基づき行う法令業務、農業者の公的代表機関として地域農業の振興業務、地域の農業・農業者に関する意見の公表、世間に対する答申業務となります。農地法に基づく許可制、農地利用状況調査、農地の利用や権利関係の調整・斡旋など、農業者と行政の架け橋として多岐に亘る幅広い活動を担っています。

